



助成:平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)

文化庁

オーケストラアンサンブル金沢 富山特別公演 with 合唱団OEKとやま

Orchestra Ensemble Kanazawa Special Concert in Toyama

[ヴェルディ:レクイエム]
Verdi: Requiem

2017年

8月27日(日) 15:00 開演 富山県民会館

■主 催: (公財)石川県音楽文化振興事業団、合唱団OEKとやま
■共 催: 北日本新聞社、北日本放送

Program

●プログラム

指揮: 山下 一史
Kazufumi Yamashita, Conductor

ソプラノ: 砂川 涼子
Ryoko Sunakawa, Soprano

テノール: 所谷 直生
Naoki Tokorodani, Tenor

メゾ・ソプラノ: 鳥木 弥生
Yayoi Toriki, Mezzo-soprano

バス: 伊藤 貴之
Takayuki Ito, Bass

管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

合唱: 合唱団OEKとやま
Chorus OEK Toyama

ヴェルディ:レクイエム

Verdi: Requiem

1. レクイエムとキリエ
2. 怒りの日(ディエス・イレ)
3. 奉献唱(オッフエルトリウム)
4. 聖なるかな(サンクトゥス)
5. 神の子羊(アニュス・デイ)
6. 永遠の光を(ルクス・エテルナ)
7. われを許したまえ(リベラ・メ)

■解説

飯尾 洋一

1868年、すでにオペラ界から引退していたイタリアの作曲家ロッシーニが世を去った。イタリア・オペラ最大の作曲家ジュゼッペ・ヴェルディ(1813~1901)は、レクイエムを作曲して偉大な先人を追悼しようと考えた。といっても、ヴェルディがひとりでレクイエムを書こうとしたわけではない。国を代表する作曲家たちに分担して曲を依頼し、これをロッシーニの一周忌に演奏しようと計画したのである。音楽的には不統一になるが、作曲家も演奏家も無報酬とし、イタリアの音楽界の総力をあげてロッシーニを追悼しようというのがヴェルディの目論見だった。

この提案は大きな反響を呼び、ヴェルディを含む13人の作曲家によってレクイエムが書かれることに決まった。ヴェルディ自身は「リベラ・メ」の作曲を引き受けた。

ところがこの計画は途中で暗礁に乗り上げてしまう。曲はほぼ順調に集まったものの、企画委員会は十分に機能せず、

出演者たちを集めることもできなかつたため、初演は中止され、作品はお蔵入りとなってしまった。

ロッシーニの死から5年後の1873年、今度はイタリアの大詩人アレッシンドロ・マンゾーニの訃報が届く。マンゾーニを深く敬愛していたヴェルディは大きな衝撃を受け、手紙で「もう何もかも終わりです。私たちの栄光のもっとも純粹で、もっとも神聖で、もっとも気高いものが終わってしまったのです」と嘆いている。

ヴェルディはミラノ市にマンゾーニのレクイエムの作曲を提案した。今度はヴェルディひとりによる作曲である。ヴェルディはロッシーニ追悼のために書いた「リベラ・メ」をこの作品に転用し、大作「レクイエム」を完成させた。1874年5月22日、ヴェルディは自らの指揮により、ミラノのサン・マルコ寺院で「レクイエム」を初演して、満場の聴衆から熱狂的な喝采を送られた。

全体は以下の7つの部分から構成される。

1. レクイエムとキリエ

静謐な導入部に続いて「レクイエム」の語が唱和される。峻厳なアカペラの合唱に続いて、冒頭部が再現される。キリエは輝かしいテノールのソロで開始される。

2. 怒りの日(ディエス・イレ)

続誦(セクエンティア)に相当。楽曲中最大規模を誇り、10の部分からなる。もっとも知られるのが「怒りの日」。嵐のような強奏にティンパニや大太鼓が加わって、恐怖心を煽る。「くすしきラッパの音」(トゥーパ・ミルム)では、舞台裏のトランペットが加わり、ファンファーレを奏でる。最後は複数の声部が繊細に絡み合う「涙の日」(ラクリモーサ)で、切々とした哀感が表現される。

3. 奉獻唱(オッフエルトリウム)

清冽なチェロに乗って、テノールとメゾ・ソプラノの独唱が歌い始め、バスが加わり三重唱をくりひろげた後、ソプラノ独唱に2台のヴァイオリンが加わる。後半はアダージョ。

4. 聖なるかな(サンクトゥス)

勇ましいトランペットと合唱が「サンクトゥス」を唱える。二重合唱による盛大な賛歌が壮麗な頂点を築く。

5. 神の子羊(アニュス・デイ)

ソプラノとメゾ・ソプラノの独唱により無伴奏で肅然と開始され、厳かな合唱が加わる。

6. 永遠の光を(ルクス・エテルナ)

ヴァイオリンのトレモロに乗って、メゾ・ソプラノ独唱が「ルクス・エテルナ」と歌い始める。やがてテノールとバスの独唱が加わり幽玄な三重唱が展開される。

7. われを許したまえ(リベラ・メ)

朗誦するかのようなソプラノ・ソロで始まり、途中で「怒りの日」や「レクイエム」冒頭部の再現を挟みながら、大きな高揚感を生み出す。最後は最弱音で「リベラ・メ」を繰り返して、消え入るように全曲を閉じる。

Profile

●プロフィール



指揮 山下 一史

Conductor Kazufumi Yamashita

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。86年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

85年12月からカラヤンのアシスタントを務め、ベルリン・フィル演奏会で急病のカラヤンの代役としてジーンズ姿のまま「第九」を指揮し話題となる。以降、アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者などを歴任。2002年より大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者、08年4月より同団名誉指揮者。06年より仙台フィル指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」などのCD制作を行うなど積極的な活動を展開。09年4月から12年3月まで同団正指揮者。09年4月にはサンクトペテルブルク響定期に出演し、大成功を収めた。また、11年2月シューマン「ゲノフェーファ」日本舞台初演、13年1月水野修孝 歌劇「天守物語」など、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。2016年4月より千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)音楽監督就任。



ソプラノ 砂川 涼子

Soprano Ryoko Sunakawa

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。ミラノで研鑽を積む。第34回日伊声楽コンクール優勝。第69回日本音楽コンクール第1位。第12回R.ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞。第16回五島記念文化賞・オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団や新国立劇場、びわ湖ホール等各地で「トゥーランドット」「カルメン」「魔笛」「ラ・ボエーム」「フィガロの結婚」「椿姫」「ドン・パスクワーレ」「ラインの黄金」等多数の作品に出演し、いずれも高い評価を得ている。

今後も藤沢市民オペラ「トスカ」、藤原歌劇団「道化師」への出演が決まるなど新たなレパートリーも広げている。オーケストラとの共演も多く、確かな技術と美しい舞台姿を持ち合わせ日本を代表するソプラノ歌手として人気を博している。武蔵野音楽大学非常勤講師。藤原歌劇団団員。



メゾ・ソプラノ 鳥木 弥生

Mezzo-soprano Yayoi Toriki

武蔵野音楽大学卒業。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院オペラ芸術科のディプロマを最高位で取得。

藤原歌劇団には、「カルメン」のメルセデスでデビュー後、「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「リゴレット」「セビリャの理髪師」「仮面舞踏会」「カプレーティ家とモンテッキ家」等多くのオペラに出演し好評を博す。またレオンカヴァッロ作曲「ラ・ボエーム」(日本初演)、バルセロナ他での「蝶々夫人」、全国共同制作公演 笈田ヨシ演出「蝶々夫人」等、国内外に於いて活躍し高い評価を得ている。

その他「第九」「荘厳ミサ」「レクイエム」等コンサートのソリストとしても、著名な指揮者、オーケストラと数多く共演している。2015年度岩城宏之音楽賞受賞。武蔵野音楽大学講師。藤原歌劇団団員。



テノール 所谷 直生
Tenor Naoki Tokorodani

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。藤原歌劇団には、04年「イル・カンピエロ」のゾルゼートでデビューし、その後「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「どろぼうかささぎ」「ルチア」等に出演。近年では「ファルスタッフ」カイウス、「トスカ」スポレッタ、「カプレーティ家とモンテッキ家」テバルドと出演を重ね、いずれも高評を得ている。

また本年3月には日本オペラ協会「よさこい節」の慶全で東京と地元高知公演に主演し好評を博す。その他これまでにイタリア・エルバの音楽祭や新国立劇場公演に出演する他、「蝶々夫人」「ドン・カルロ」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「カルメン」「トリスタンとイゾルデ」等のオペラや、「第九」、モーツァルト「レクイエム」、プッチーニ、グノー、シューベルトの「ミサ曲」等のソリストも務め多方面で活躍している。藤原歌劇団員。



バス 伊藤 貴之
Bass Takayuki Ito

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。2013年NPO法人イエローエンジェルの奨学金を受け渡伊。第48回日伊声楽コンクール第2位。第41回イタリア声楽コンクール金賞受賞。第6回ジャンニーノ・ゼッカ国際声楽コンクール第2位。

愛知県芸術劇場公演「椿姫」グランヴィルでオペラデビュー。藤原歌劇団には13年「仮面舞踏会」トムでデビュー後、「ラ・ボエーム」「ファルスタッフ」「ランスへの旅」「カルメン」「ノルマ」に出演し好評を博す。また近年では新国立劇場「サロメ」、日生劇場「セビリアの理髪師」、関西二期会「ファウスト」等に出演する他、今後は藤原歌劇団「ルチア」に出演予定。その他「第九」「メサイア」、ヴェルディ、モーツァルト、フォーレ「レクイエム」等コンサートへの出演も多い。藤原歌劇団員。



昨年までは「合唱団おおやま」の名称で、21年間21回に渡り毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラとの共演による演奏会を開催してきた。そのうちオーケストラ・アンサンブル金沢との共演は19回に上る。この演奏会では、ラター、ベルト、ドロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミーラーなど、現代作曲家のミサ曲を多く取り上げてきた。

指揮の山下一史氏とは、第7回演奏会(平成14年)のモーツァルト/レクイエムに始まり、今回で14回目の共演となる。

今回、会場を富山県民会館に移し、大編成の合唱団でヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、合唱団OEKとやまと名称を改めた。

合唱団員募集中。

お問合せは谷崎=(090-8093-7549)まで。

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱指揮 内山 太一・谷崎 修一

コレペティトゥア 村上 麻理

■ソプラノ

生津江 昭子
上野 聡美
上 埜 直子
江 沼 柚子
大江 晶子
岡本 洋子
奥田 節子
川 尻 久美子
木谷 友紀
木村 直子

熊倉 理子
黒田 絵利奈
越村 朋子
坂口 佳子
嶋尾 早紀子
嶋尾 萌子
高野 登喜美
武部 由貴美
谷崎 キミ子
谷崎 千紗

谷崎 千鶴
千葉 多恵
永澤 美保
長田 雅子
羽岡 典子
藤村 千賀子
松井 あずさ
松井 照枝
水島 成子
宮東 智香子

宮本 幸江
三由 よしえ
村上 麻理
本吉 規子
森本 多賀美
山崎 陽子
山崎 忍
山本 裕美
吉田 正美
吉田 有希

■アルト

麻 島 利 子
 荒 川 祥 子
 飯 田 三 千 代
 池 田 ユウ子
 井 上 澄 子
 岡 本 祀 子
 岡 本 智 子
 奥 野 知 子
 桶 谷 道 子

笠 置 由 美 子
 片 山 美 富 里
 北 村 由 理 子
 木 村 ま ゆ み
 小 島 久 美
 佐 伯 る み
 坂 田 愛 子
 島 瀬 節 子
 清 水 美 和 子

高 木 茂 子
 高 橋 英 子
 津 田 玉 美 子
 手 林 晶 子
 戸 田 圭 子
 豊 岡 聡 子
 仲 井 葉 子
 中 川 律 子
 中 田 勝 代

原 田 栄 子
 平 崎 康 子
 松 井 真 理 子
 宮 下 千 春 子
 宮 本 安 芸 子
 村 椿 伸 子
 森 田 真 奈 美 子
 吉 田 雅 子

■テノール

飯 田 泰 三
 井 内 学
 市 橋 健
 上 田 文 男
 大 崎 晴 夫

金 山 隆 浩
 上 山 優
 小 松 哲
 坂 本 真 一
 田 中 健 太 郎

田 中 哲 彦
 津 田 朋 信
 長 田 充 弘
 廣 野 正 和
 牧 重 和

三 羽 康 嗣
 安 川 幸 治
 山 崎 勝 幸
 米 澤 憲 二 郎

■バス

青 木 修 平
 麻 島 宗 義
 飯 田 憲 司
 上 田 慎 一
 上 田 外 喜 男
 上 野 友 二 朗
 扇 原 桂 一

金 盛 正 寛
 小 西 由 郎
 城 石 平 一
 鈴 木 一 暢
 立 花 睦 英
 谷 崎 修 一
 中 村 元 保

西 村 祐 亮
 野 入 豊 光
 野 尻 芳 邦
 花 木 直 二
 廣 田 新 伍
 藤 井 実 也
 平 加 進 也

松 井 輝
 松 田 昭 治
 宮 下 和 弘
 年 代 拓 夢



管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢 Orchestra Ensemble Kanazawa

(OEK)



1988年、世界的指揮者、故 岩城宏之が創設音楽監督(永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅前に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、多くの定期公演や北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。ヨーロッパ、オーストラリア、アジアを含む海外公演も多い。

設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施し、多くの委嘱作品を初演、CD化している。その他、ジュニア・オーケストラの指導、学生オーケストラの指導と共演など、子供たちの育成・音楽文化の普及活動にも積極的に取り組んでいる。90枚を超えるCDもリリース。07年より、指揮者の井上道義を音楽監督に迎え、新たな活動を展開。

◆公式サイト <http://www.oek.jp/>



協カ (賛助出演) 兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

(HPAC)



撮影: 飯島 隆

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。

◆公式サイト <http://hpac-orc.jp>

OEK & PAC 合同公演開催!!

オーケストラ・アンサンブル金沢特別公演

[チケット10月23日(月)発売]

■日時/2018年1月23日(火) 19:00開演

■会場/石川県立音楽堂コンサートホール

指揮 佐渡 裕

チャイコフスキー: フランチェスカ・ダ・リミニ
大序曲「1812年」 他